



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

地域防災力の向上に向けた 新たな取組について

令和5年7月18日

広島県消防保安課

これまでの取組について①

避難の呼びかけ体制の構築

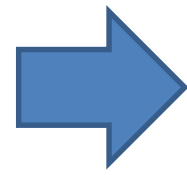
- ✓ 災害時に避難行動をとるには、**家族や地域の人などの声掛けが有効**
- ✓ このため、**自主防災組織で、あらかじめ避難の呼びかけを行うタイミング**や**方法などを決めて、災害の危険が迫ったときに、自主防災組織から地域の住民に、避難の呼びかけを行う体制を構築する取組を推進**



自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりマニュアル

様式2 呼びかけ体制づくり検討シート

自主防災組織名	項目	内容
	1 世帯数・人口	
	2 避難先	
	3 災害想定区域	
	4 避難情報の入手方法	
	5 呼びかけの順番（連絡体制）	
	6 呼びかけ担当者不在時の対応	
	7 呼びかけのタイミング	
	8 呼びかけの範囲・優先度	
	9 呼びかけ方法	
	10 呼びかけ内容（メッセージ）	
	11 呼びかけ・避難の確認方法	
	12 避難経路	
	13 避難所の開設	
	14 他団体との連携	
	15 その他	



呼びかけ体制づくり検討シート（検討例）

自主防災組織名	項目	内容
〇〇町自主防災組織	1 世帯数・人口	約 100 世帯 / 約 250 人（令和 2 年 1 月時点）
	2 避難先	〇〇町公民館
	3 災害想定区域	土砂災害警戒区域・特別警戒区域
	4 避難情報の入手方法	テレビや県の防災メール、防災行政無線の戸別受信機等により情報を入手する。
	5 呼びかけの順番（連絡体制）	会長（副会長）→副会長→組長（10 人）→住民 ※会長・副会長は分組して組長に連絡する。
	6 呼びかけ担当者不在時の対応	会長が不在の時：副会長が組長に連絡する。 組長が不在の時：会長・副会長が直接、全住民に連絡する。
	7 呼びかけのタイミング	警戒レベル 3 が発令されたとき。 ※警戒レベル 4 以降に戸別訪問で呼びかけを行うと、呼びかける側にも危険が及ぶ可能性があるため、呼びかけは警戒レベル 3 のみとする。
	8 呼びかけの範囲・優先度	全住民に避難を呼びかける。 ただし、要配慮者や土砂災害警戒区域に居住する住民から先に呼びかけていく。
	9 呼びかけ方法	固定電話と戸別訪問を主とする。 今後は携帯電話でも連絡ができるよう、住民に携帯電話の番号を聞き取る予定である。
	10 呼びかけ内容（メッセージ）	・私は〇〇町公民館に避難するので、一緒に避難しましょう！ ・自分の命を守るのは自分です！急いで一緒に逃げましょう！ ・残った人を悲しませるのはやめましょう！
	11 呼びかけ・避難の確認方法	①住民に避難の呼びかけをしたら、組長は会長・副会長のいずれかに呼びかけた人と呼びかけた人の避難状況を報告する。 ②会長・副会長は、組長からの報告を情報共有する。
	12 避難経路	災害発生直後やまだあるべきを行い、過去に被災した箇所や危険な箇所を把握しており、安全に避難できる経路を設定している。
	13 避難所の開設	〇〇町公民館（レベル 3 発令時に市が開設する。）
	14 他団体との連携	現在、連携している団体はないが、今後、消防団や民生委員、子ども会などと話し合い、災害時における情報共有や、要配慮者の支援、平時の防災活動などについて、連携していく予定である。
	15 その他	・防災マップの作成について 今後、土砂災害警戒区域等の災害想定区域や、過去の被災箇所、避難所、避難ルートなどを示した防災マップを作成し、地区の状況を把握する予定である。

これまでの取組について②

マイ・タイムラインの普及促進

- ✓ 豪雨災害の危険が迫ったとき、自分や家族の命を守るための「自らの防災行動計画」であるマイ・タイムラインを作成する取組を推進
- ✓ 学校におけるマイ・タイムラインを活用した防災教育や県民への普及促進を推進



「ひろしまマイ・タイムライン」



「ひろしまマイ・タイムライン」を活用した防災教育

地域全体の防災力の向上を目指して、
地域と個人の取組を一体的に進めるため…

- ✓ 呼びかけ体制の充実（地域住民への浸透）と
- ✓ 個人の避難行動（マイ・タイムラインの作成）

を一体的に展開するツール

「地域防災タイムライン」の活用を推進


地域防災タイムラインについて


個人の避難行動
に関する内容


ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク ハザードマップ (QRコード) 上で自宅周辺に色が塗られている場合は、□に✓してください。


土砂災害警戒区域等


洪水浸水想定区域


たが地対策浸水想定区域

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

飲料水(1日1人3リットル×3日)
 食料(人数×3日)
 モバイルバッテリー
 携帯ラジオ

防寒具・アルミブランケット
 ガムテープ・軍手(人数分)
 簡易トイレ
 靴・スリッパ
 ホイッスル
 救急セット

※ その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照➡

避難までの準備

気象情報
 避難情報の収集

テレビ
 防災情報メール

ラジオ
 防災アプリ

避難のタイミング

避難に支援が必要な人 (高齢者、障がいのある方、乳幼児、妊婦など)

いる 警戒レベル3 高齢者等避難で避難
 いない 警戒レベル4 避難指示で避難

避難する場所


▶ 避難先は2つ以上確保しておきましょう。
▶ 安全な場所にある、親戚・知人宅やホテルなども避難先になります。


と


地域防災タイムライン

組織名記入予定

この地域では、大雨が降った際に、


洪水


土石流が崩れ


ため池決壊

が発生する危険があります。

地域の皆さんに早めの避難を促すため
自主防災組織の会長や役員などから

避難を呼びかけます

When

いつ？


(例)


警戒レベル3
高齢者等避難

How

どうやって？

(例)


電話


戸別訪問

～避難訓練などの際に、この用紙を活用してください～

災害時連絡先メモ

例) 家族・会社・かかりつけ医など

氏名	電話など
氏名	電話など

自主防災組織の
呼びかけ体制に
関する内容

特徴

- ✓ 地域で決めた避難の呼びかけ体制の重要項目を掲載
⇒ 呼びかけ体制の地域住民への浸透
- ✓ 個人の避難について考え、各自で記入する重要項目を掲載

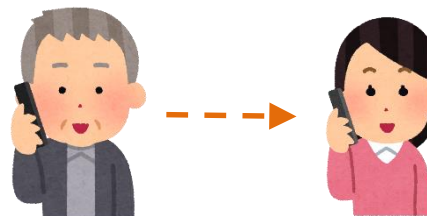
地域防災タイムラインの展開モデル（例）

避難の呼びかけを盛り込んだ（※）
避難訓練の企画・立案



※ 地域防災タイムラインを活用

① 避難の呼びかけ



✓ 呼びかけ体制の確認



✓ 個人の避難について検討
✓ 呼びかけ体制の見直し
など



② 避難所へ避難



③ 振り返りなど

地域防災タイムラインを活用した避難訓練の実施

⇒ 避難の呼びかけと個人の避難を同時に訓練

地域防災タイムラインの活用について

✓ 避難の呼びかけを盛り込んだ避難訓練で
「地域防災タイムライン」を活用したい場合には、
 県消防保安課へご相談ください。

○避難の呼びかけ検討シート

避難の呼びかけ検討シート 資料

あなたの自主防災組織について、次の内容をご検討頂き、このシートにご記入ください。

組織名		
01. 大規模災害時に、あなたの地域で発生する危険のある災害にびをお願います。	<input type="checkbox"/> 洪水	<input type="checkbox"/> 土石流・がけ崩れ
02. 避難を呼びかけるタイミングについて、実施するものにびをお願いします。	<input type="checkbox"/> 警戒レベル2 (大雨注意報) <input type="checkbox"/> 大雨警報 <input type="checkbox"/> 警戒レベル3 (高齢者等避難) <input type="checkbox"/> 警戒レベル4 (避難指示) <input type="checkbox"/> その他 ()	
03. 避難を呼びかける方法について、実施するものにびをお願いします。	<input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 戸別訪問 <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> アプリ (アプリ名:) <input type="checkbox"/> 防災無線 <input type="checkbox"/> その他 ()	
担当役員名・連絡先	〒	
氏名:		
連絡先:		
希望郵数	送付希望時期	避難訓練実施時期 (決まっている場合)
部	月頃	月頃

上記の情報をもとに、あなたの自主防災組織の地域防災タイムラインを作成します。

＜提出先＞ ○○市危機管理課 (担当: ○○)
 〒○○ 広島県○○市○○町○○番地
 TEL ○○ FAX ○○

➡
 記載内容を反映

ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク。ハザードマップ (QRコード) 上で自宅周辺に色で示されている場合は、口にしめてください。

土砂災害警戒区域等 洪水浸水想定区域 ため池等危険な区域

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

飲料水 (1日1人3リットル×3日) 防寒具・7層ブライヤク
 食料 (人数×3日) ガムテープ・筆手 (人数分)
 10分アプリ 簡易トイレ
 携帯ラジオ ホイッスル 救命セット

※ その他グッズ類は、右のQRコードを参照

避難までの準備

気象情報 テレビ ラジオ
 避難情報の収集 防災情報メール 防災アプリ

避難のタイミング

避難に支援が必要な人 (高齢者、身体障害者、乳幼児、妊婦など)

警戒レベル3 高齢者等避難
 警戒レベル4 避難指示で避難

避難する場所

※ 避難先は2つ以上確保しておきましょう。
 ※ 安全な場所にある、親戚・知人宅やホテルなども避難先になります。

と

地域防災タイムライン

組織名記入予定

この地域では、大雨が降った際に、

(例) 洪水 土石流が崩れ たが池決壊

が発生する危険があります。

地域の皆さんに早めの避難を促すため
 自主防災組織の会長や役員などから

避難を呼びかけます

When いつ? How どうやって?

(例) 警戒レベル3 高齢者等避難

電話 戸別訪問

～避難訓練などの際に、この用紙を活用してください～

災害時連絡先メモ

氏名 電話など
 氏名 電話など

➡
 訓練で活用





元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/>